

「気にする」から始めよう！ 見守り活動のススメ



近年、高齢化や近所付き合いの減少などにより、孤立死など、さまざまな問題が起こっています。

こうした事態を防ぐためには、身近に暮らす住民同士がつながりを深め、支え合うことが重要であり、そのための第一歩が地域での「見守り」です。今月号の特集では、厚別区で行われている見守り事例や、日常生活でできる見守り活動について紹介します。



この特集に関するお問い合わせ 保健福祉課活動推進担当 ☎895-2471

なぜ「見守り」が必要？

＜現在の私たちを取り巻く環境＞

高齢化、核家族化
マンションなどで暮らす人の増加、
近所付き合いの減少

高齢者の夫婦世帯、
ひとり暮らし世帯の増加
地域での人間関係の希薄化 など



さまざまな問題が発生

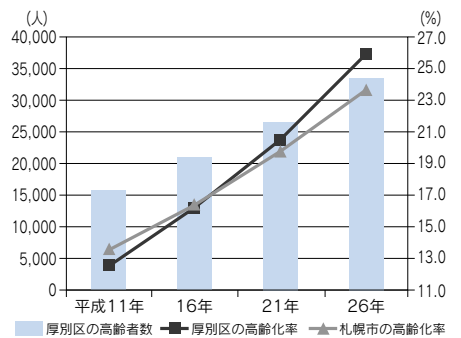
孤立死 子育ての悩み
介護 児童・高齢者・障がい者への虐待
高齢者の引きこもり 認知症

身近な住民同士がお互いを気に掛け支え合うことで、社会的な孤立を防ぎ、地域で発生している問題を早期に発見して、深刻化を防ぐことができます。見守り活動をきっかけに近隣の住民同士の関係が深まれば、安心感を持って暮らすことにもつながります。

また、こうした日頃からの取り組みは、災害時の助け合いにも役立ちます。

厚別区でも高齢化が進んでいる！

■厚別区の高齢者数の推移



各年 10月1日現在

＜出典＞市長政策室企画課資料

地域の身近な相談員 民生委員・児童委員

ひとり暮らし高齢者の自宅を訪問し、安否確認などの見守り活動を行っています。訪問の際には、さまざまな相談にも応じており、解決に向けて必要な情報をお知らせしたり、区役所や専門機関へのつなぎ役も担っています。

国・札幌市からの委嘱を受けていますが、地域住民から選出され、ボランティアで活動しています。

現在、厚別区内では 171 人の民生委員・児童委員が活動中です。



厚別中央地区民生委員・
児童委員協議会会長
西根 由美子 さん

最近ではひとり暮らしの方も増え、相談内容も複雑化しているように感じます。

普段は見守る側ですが、逆に気に掛けてもらうこともあり、そういうときはうれしいですね。

民生委員同士でも情報交換をこまめにするようにしています。一人で抱え込まないことも活動を続けるためには大切だと思います。

訪問調査を実施しています

66歳を迎える方などを対象に訪問調査を行っています。

民生委員がお宅を訪問し、世帯状況や健康状態、緊急時の連絡先などをお聞きしています。なお、民生委員・児童委員は常に身分証を携帯しています。

お住まいの地域の委員が分からない場合などは、お問い合わせください。

【詳細】保健福祉課活動推進担当 ☎895-2471



2月25日(水)10時45分からの
広報ラジオ番組で紹介します。